

ふじしろ政夫 と共に市政を変える会ニュース

発行：ふじしろ政夫と共に市政を変える会
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50
E-mail: masao.fujishiro@zc.wakwak.com

2007年2月号
TEL&FAX 047-445-9144
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>



『いいかがや』をつくりましょう！ —市議会議員 ふじしろ政夫—

“道路”は、車の為？歩く人の為の道なのか？

《安心・安全な住みよい街づくり》



新鎌ヶ谷周辺の渋滞

の“道行政”について考えてみたいと思います。

「脱車社会」の道のあり様は？・・・高齢者に対応する道路行政とは？・・・渋滞の解消は？・・・

鎌ヶ谷じゅう、あちこちで車の渋滞がおきています。

船取線における初富駅、新鎌ヶ谷駅近くの“踏み切り”が、又 木下街道における鎌ヶ谷大仏の“踏み切り”が渋滞をより増加させています。これらは、新京成線の高架化によってその解決の方向性が求められると思われませんが、基本的に、鎌ヶ谷の道路はどうなっているのでしょうか・・・

船取線（船橋から我孫子方面へ）、鎌ヶ谷・松戸線（大仏から五香へ）、木下街道（市川～印西）といった旧来からの幹線道路がすべて中心市街地を通過する形になっています。通過車両が集まってくるといった構造的な問題があります。

それ故、新鎌ヶ谷のイオン、アクロスモール周辺は車の渋滞が恒常化しています。

“脱車社会”と言われはじめてから久しくなりますが、現実ますます車依存の生活となっている感じです。これでは道路をつくればつくる程、渋滞は激しくなります。これからの鎌ヶ谷市の街づくりの方向性が問われています。

生活住環境を良くする為にも、生活道路への車の進入の制限が必要になってくるのでは・・・東初富地区の

「くらしの道ゾーン」で課題となった通過車両対策は、ランプ等の設置によって車の速度を落とさせる効果は出せたものの、通過車両は減らず抜本的な解決にはなっていません。さらに、中心市街地の活性化の為にも、車の制限といった手法が必要なのではと思われます。今、東武鎌ヶ谷駅西口のATM（歩いて楽しいみちづくり）では、都市計画道路内の生活道路、並びに駅周辺の整備を“歩く”といった観点から検討しています。

成果が期待されています。



鎌ヶ谷駅・都市計画道路

ドイツのフライブルク、フランスのストラスブールはLRT（路面電車）、あるいはパークアンドライド（区域内車の進入禁止）といった車の規制によって、よりよい生活・都市空間を生み出しています。

鎌倉市での「流入コントロール地域」など、今、私達の街づくりも“モータリゼーション”を大前提とするのではなく、“歩く・自転車・公共交通”をキーワードにして、道路行政全体を見直す必要があるのではないのでしょうか！



生活空間のみち

車の渋滞を解決する為の、道路整備は急務ですが、その解決方法において、“歩いて楽しい、人にやさしい街づくり”の観点を導入すべきだと思われます。

§ 市民のこえ §



自転車で転んでから、歩くことが多くなりました。歩いてみて分かることも結構あるんですね。

たとえば、東武団地脇の三叉路から、市民体育館へ抜ける路。一度皆さん歩いてご覧になってみて！人の歩く路は路肩に落ち込みそうな、僅かな幅しか作られていません。とても、恐ろしくて！！歩けたものじゃありません。こういう道は他にもあるんじゃないでしょうか？

登下校の学童の列にクルマが突っ込むという惨事は幸い起こっていませんよね。でもいつ起こっても不思議ではないのかも。老人が多くなると、歩行者が、それも動きのぎこちない歩行者がふえるはず。安全確保のために、会員の皆さん！語り合っ、歩行者に危険な・・・少なくとも快適でない・・・道、手始めに調べて見るの、どうでしょう？

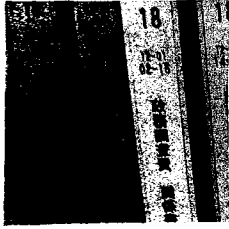
東初富 並木徳之助



時速40kの道？です



鎌ヶ谷市の政務調査費？！



議員に対して、報酬以外に“政務調査費”が出されています。(地方自治法100条13項、14項)

昨年は、その用途が不明である、不正であると、目黒区を始めとする、多くの市・区で問題が指摘されました。

鎌ヶ谷市は、条例によって研修費、調査旅費、資料作成費、資料購入費、事務所費等の経費に政務調査費があてられることを規定しております。又、調査した“報告書”と“領収書(原本)”の提出が義務づけられております。

報告内容等については、情報公開条例の公開請求によって原則公開されています。さらに、より開かれた議会となるべく、公開請求がなくとも常に市民に公開されている必要があるのではと思われまます。調査費の額についてはそれぞれの市で違ってまいります。例えば、鎌ヶ谷市では1人当たり年額24万円、千葉市は360万円、船橋市96万円、我孫子市42万円、白井市36万円、等々です。

ふじしろ政夫は、会派(2人)として事務所費、資料購入費、研修費、調査旅費として使わせていただいております。

『格差社会』・・斉藤貴男さん語る

『プライバシークライシス』『安心のファシズム』などの著作のある斉藤貴男さんのお話を聞く機会がありました。

財務省の統計によると、2002年2月から4年半あまりの間、企業の経常利益は、80%以上増加、しかし授業員1人当たりの賃金は、減少(−1.4%)しているとの事。これはなぜなのか？と問題が提起され、格差社会の本質にせまる論が展開されました。



格差社会への道は、バブル経済崩壊後の1995年、日経連の報告「新時代の日本的経営」から始まっているとのことです。その報告では“人件費が高すぎる”、それ故(1)生産拠点を人件費の低い外国へ(2)終身雇用・年功序列をやめ、一部のエリート型の雇用と、多数の非正規雇用(柔軟型)へと転換していくことが提案されました。その結果、非正規雇用はますます増え(約50%位が非正規雇用)、雇用における格差は「身分格差」を、「所得格差」を生み出し、さらに、その格差は、「教育格差」までも生み出している現状の問題点が指摘されました。

教育課程審議会の委員からは、「落ちこぼれがないように、教えるものを下げた(30%カット)のです。非才、無才な子は“実直な精神”があればよいのです。手間ひまは、エリートにかけてあげる。これが“もどめる教育”なのです。」といった言葉が出てくるほどの状況になってしまっているとのことです。

「個人の尊厳」をみじんもかえりみない社会って本当にいいのだろうか？ 成長、効率、競争の呪縛から抜け出られない日本の社会・・・毎年の自殺者が3万人以上は異常なことです。個人一人一人を大切に社会をつくっていききたいものです。

街かど情報

“大仏”は黙っています・・・



鎌ヶ谷市指定文化財第1号の鎌ヶ谷大仏。300年前から木下街道を旅する人、生活する人々を温かく見守っている大仏。昨今、他市から見学にくる人の姿もチラホラ見うけられます。

江戸時代に造られた“小さな大仏”。いま、全国で20数体残るのみ。その中でもかなり技術的にも優れた鎌ヶ谷大仏。

周辺を整備し大仏の文化的歴史的価値に光を当てましょう。



『ふじしろ政夫』頑張れ 一言コーナー

- ◆4年前の初当選以来取り組んできた“野馬土手”が国の文化財に指定されました。又我々の身近な問題も即調査対応してくれます。開かれた議会・市民参加の市政実現の為にも行動力のある藤代さんは、鎌ヶ谷市議会には、なくてはならない人です。 山下 昭子(南鎌ヶ谷)
- ◆住基ネットの危険性、国民保護計画に対する問題点等の訴えは、まさに藤代さんの真骨頂と言えるでしょう。今の鎌ヶ谷の議会状況を見ればやはりもう一汗かいてもらいたいです。 岡崎 茂夫(東道野辺)
- ◆独自の感覚と深い知識を活用し、鎌ヶ谷の民主化と歴史文化・平和を大切に惜しまない市民活動を続けている。特に野馬土手の保存活用も意義ある自治の議員で彼こそ市民の代表です。 佐藤 良子(初富)

<<お知らせ>>

- ★「野馬土手・捕込」国指定史跡を祝う特別講演会
青木さん野馬土手を語る
2月18日(日) 13:30～ まなびい
- ★ ふじしろ政夫の事務所開き
3月4日(日) 14:00～ 初富本町事務所にて

『きょうどう事務所・トライ』

- ☆ 法律無料弁護士相談
2月24日(土) 13:00～ 要予約
3月24日(土) 13:00～ ふじしろまで
- ☆ 碁楽会 毎週金曜日 13:00～17:00
- ☆ 数学教室 毎週月・火曜日 19:00～21:00

「ふじしろ政夫と共に市政を変える会」の

ホームページを見て下さい！

新しく開設しました。

<http://e-kamagaya.com/>

いいかまがや で検索するとすぐ出ます。

